

議事概要記録

開催日時	平成 28 年 12 月 23 日 (金) 11 : 00 ~ 13 : 00	開催場所	和歌山県 JA ビル 8 階会議室
会議種別	平成 28 年度 第 7 回常務会理事会	議 長	
		書 記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁		
欠席者 <敬称略>	神藤 洋次	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>予算書案査定</p> <p>来年の検体採取講習会の人選について</p> <p>その他</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>血液検査班症ライブラリ 患者情報使用申請書（仮称）にかかる患者情報使用申請書（仮称）の運用について</p> <p>理事会にて常務理事会一任すと決裁を得ているが、学術部長より内規等の作成も含め引き続き継続審議とすることを確認した。</p> <p>9 月 16・17 日に行われる平成 29 年度検体採取講習会について</p> <p>和臨技より実務委員を派遣する必要がある。早急に理事から担当責任者と実務委員（受講済み者）を擁立する必要がある、2 月末の理事会までに人選を含め調整することを確認した。また、実務については学術部長が作成した運用マニュアルに沿って運営することも確認した。</p> <p>次年度の予算案審議について</p> <p>公益事業について、概ね 28 年度を踏襲した計画案であるが、ピンクリボン活動については 30 年度以降をめどに見直すことを提案、理事会にて決済を仰ぐことを確認した。</p> <p>医療セミナーについて、講演会開催を中心とした計画とし、無料検査は検査展側にて簡易検査を実施することを確認した。また、セミナーと検査展は今後、綿密に調整するようにと申し入れがあった。</p> <p>学術活動について、会誌事業の予算比率に変更があった旨の報告があった。</p> <p>合同研修会について、29 年度は第 20 回の記念事業となるため、医師による講演（講師招聘）を例年の 1 名から 2 名に増やしたい旨の申請があり、それに伴う予算増額とともに承認され、理事会にて決済を仰ぐことを確認した。</p> <p>コミュニケーション事業について、企画会議を行う必要性から係る交通費等の増額分を予算案に盛り込んだ旨の申請があり承認され、理事会にて決済を仰ぐことを確認した。</p> <p>事務局費について概ね承認されたが、行事予定表配布にかかる印刷費・郵送費等について、ホームページ等を使用した削減の方向性を検討した。また、ホームページ容量の増量について申し出があり、理事会にて予算増額も含め決済を仰ぐことを確認した。</p> <p>災害フォーラムについて、その開催趣旨など会員向けへの内容に方向性を修正するべきとの意見があった。また、企画段階でも災害対策委員会にてその方向性が共有・確認がで</p>		

きるよう適宜、企画会議の開催も考慮した予算案に修正を促すことを確認した。

リレー・フォー・ライフ・ジャパンin2017わかやまについて

後援名称使用および会長の顧問就任依頼を受諾することを確認した。

平成 29 年度和歌山県医学検査学会について

紀南北地区で開催すること、学会長は木下学術部長、実行委員長は相根理事で開催する案の申し出があり、理事会にて決済を仰ぐことを確認した。

和臨技表彰について

日臨技より臨床衛生検査業務功労者の厚生労働大臣表彰の推薦者紹介について、当会から村田元会長を推薦することを確認した。また、日臨技より提示された日臨技永年職務精励者表彰者リストより、和臨技での永年職務精励の対象者を確認した。

小島三郎記念技術賞および福見秀雄賞の各推薦について、当会からは該当者なしと報告することを確認した。

記録作成	平成 28 年 1 月 6 日	氏 名	田中 規仁	提 出	平成 28 年 1 月 7 日
------	-----------------	-----	-------	-----	-----------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可